

生活困窮者自立支援の これまでの課題と展望

参加料
500円
(資料代)

～生活困窮者自立支援制度施行から1年～

2015年4月より生活困窮者自立支援制度が開始し、全国の福祉事業所設置自治体で「自立相談」等の相談窓口が設置されて、まもなく1年になります。

これまでの実践から見た生活困窮者の実態と課題、2016年度への展望を考え合いましょう。

プログラム

- 1 講演 宮本 太郎氏 (中央大学 教授・生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表)
テーマ 「全国の生活困窮者自立支援事業の現状と今後の期待」
- 2 基調報告 埼玉県社会福祉課 生活困窮者支援担当 主幹 服部 孝氏
- 3 実践報告 「これまでの現状と課題、そして展望」
一般社団法人 彩の国子ども若者支援ネットワーク
公益社団法人 埼玉県社会福祉士会
特定非営利活動法人 ワークスコープ
コーディネーター 日本労働者協同組合(ワークスコープ)連合会 事務局長 田嶋 康利氏
コメンテーター 埼玉県立大学 教授 長友 祐三氏
- 4 地域連帯 埼玉県内で、貧困問題等で活動する団体の紹介

基調講演の講師紹介



宮本 太郎(みやもと たろう)氏

1958年東京都生まれ。中央大学法学部教授。政治学、福祉政治論専攻。政治学博士。中央大学大学院法学研究科博士課程修了。立命館大学法学部助教授、ストックホルム大学客員研究員、北海道大学法学部教授などを経て、2013年より現職。

2016年3月21日(月) さいたま市産業文化センター ホール
13:00～17:00 (12:30開場)

■主催 生活困窮者自立支援フォーラム2016春 in 埼玉・実行委員会

■共催 一般社団法人日本社会連帯機構 北関東地方委員会

■後援 埼玉県雇用対策協議会、(埼玉県社会福祉協議会)

■問い合わせ先 特定非営利活動法人ワークスコープ 北関東事業本部

〒336-0018 さいたま市南区南本町 2-5-15 M.M オフィス 201号 電話048-844-0085

●アクセス



電車でお越しの方	
JR 埼京線	「与野本町駅」東口下車 徒歩約7分
JR 京浜東北線	「与野駅」西口下車 徒歩約17分

地下有料駐車場（台数 28 台、1 台 1 時間につき 100 円）

● 生活困窮者自立支援のこれまでの課題と展望 ●
 ～ 生活困窮者自立支援制度施行から 1 年 ～

参加申込 参加費用:500円(資料代)

■お名前、ご住所、ご連絡先などの個人情報の記入欄を設けてありますが、それらの個人情報は今後のお知らせ以外の目的に使用することはありません。またご本人の同意なく第三者に提供することもございません。

下記の表に必要事項をご記入の上、下記までFAXにて送信してください。

フリガナ お名前		男 ・ 女	所 属（企業名、団体名、学校名他）
ご住所	〒	TEL	— —
		FAX	— —
		メール	@
フリガナ お名前		男 ・ 女	所 属（企業名、団体名、学校名他）
ご住所	〒	TEL	— —
		FAX	— —
		メール	@

参加申込書 FAX 048-844-0086